



男女とも**新王者**

男子決勝トーナメントで決勝戦進出を決めたのは、菱浦よしひくぞーと崎だんじり。昨年決勝と同じ、因縁の対決です！ 1本目を辛勝した菱浦よしひくぞーがそのまま連勝するかと思いきや、それまでの強豪との連戦で既に体力を削られていた菱浦が2本目では崎の持久力に屈し、その勢いで3本目も引き切った崎がまさかの逆転初優勝！ 地区をあげての紫色の応援団と選手たちが老若男女一体となり、勝利の雄叫びを響かせました。

女子決勝トーナメントの決勝戦進出は、海士セレ・ブスと北分レディース。海士セレ・ブスが2本先勝による圧倒的な強さで優勝を決めました。女子はこれまで東さわかやかが8連覇しており、2位に甘んじることが多かった海士セレ・ブス。チーム結成10年目にして悲願の初優勝となりました。

小学生の部は、西ノ島小、福井小、海士小からの5チームがリーグ戦を争いました。西ノ島勢はどのチームの応援団も元気がいっぱい、太鼓を打ち鳴らしながら大会を大いに盛り上げてくれました。



《試合結果》

■ 一般男子

- 1位 崎だんじり
- 2位 菱浦よしひくぞー
- 3位 菱浦さすらい JAPAN

■ 一般女子

- 1位 海士セレ・ブス
- 2位 北分レディース
- 3位 西ノ島ドーターीडX

■ 小学生の部

- 1位 進撃の西小B
- 2位 福井ミラクル9
- 3位 福井グレート9

《特別賞》

● ベストドレッサー賞

- 男子 知夫里島イケメンズ
- 女子 チーム島前

ええによばーず

● ベストパフォーマンス賞

- 男子 西ノ島チヨーマッサ
- 女子 JKレスラーと

ゆかいな仲間たち

● ベストサポーター賞

- 男子 隠岐ブロック青年部
- 女子 知夫里島ビューティーズ

● スーパーバトル賞

- 男子 菱浦よしひくぞー
- 女子 西ノ島ドーターीडX

不動の「青の王者」を破って新王者に輝いた 男女2チームの代表に特別インタビュー！

●●●●●●●● 崎だんじり



右: 船田 正美さん
左: 杵築 泰久さん (監督)

●初優勝の感想は

「決勝1本目、予想以上に強えなくと驚いた。よしひくぞーはやっぱり別格。2本目は本当にしんどかったけど、絶対向こうもしんどいはずやと思って耐えた。いい試合やな〜と思って、腕だけじゃなく心も震えました」(船田)

「綱引き前日の花見で、選手がずらっと並んで勝利宣言した。そのおかげで今年は地区の皆さんがたくさん応援に来てくれた。だから勝てたんじゃないかな!」(杵築)

●練習はキツかった?

「仕上げは地獄の3本引き。よしひくぞーと決勝で当たることを想定して、とにかく3本連続で休憩無しで。で、負けたほうはやいや引いて地ならしの罰ゲーム」(杵築)

「この監督鬼やで!」(船田)

●崎ならではの強みは

「まず練習量。決勝、1本目は力比べで負けたけど2本目は我慢比べになった。自分たちの身を削りながら相手も削るといのが崎のやり方。我慢比べなら勝てる自信があった。それだけの練習は絶対してははずだと思っていったから」(船田)

「実は遊びの要素もあるんです。6つ数えて7つめでドン!という今年のリズムは、実は十日恵比須のリズムと一緒になんだよね! 崎のチームのいいところは、練習で引きながら色々考えて、スタイルを柔軟に変えていけること」(杵築)

「すごいメンバーもいる。前田忠章さん(61歳)は綱引き界のレジェンド(笑)。第1回から全部出てるし、腕相撲でも崎で一番。一方で今年は新人も多くて、半分が未経験者でしたから、来年以降の伸びに期待しています」(杵築)



●昔は最弱ってホント?

「弱かったですよ。試合は30秒で負けて、直会が6時間(笑)」(杵築)

「ようやくここ3、4年で、『勝とう』っていう気運が盛り上がってきた」(船田)

「若い1ターンやUターンが増えて、雰囲気も変わってきたよね」(杵築)

●これからのこと

「日本の中で海士町が頑張ってるように、海士町の中で一番端っここの崎が率先して頑張ってる、それがまわりにも伝わって、結果的に町全体が盛り上がればいいですね」(杵築)

「崎青壮年会が頑張れば年長者も応援してくれる。大それたことは出来ないけど、今までであったものを守りながら少しづつ盛り上げていって、地区の火付け役になれたらいいな」(船田)

●●●●●●●● 海士セレ・ブス



右: 木綿 絵美さん
左: 万代 忍さん

●東を撃破した感想は

「まず予選の初戦、相手が(8連覇中の)東だったのですごく緊張した。あの1本目で力を出し切った感じ。初めて東に勝って本当に嬉しかった!」(木綿)

●新加入と秘密の特訓

「新加入の濱見有希さんはUターンで綱引き経験者。なんと島前高時代に優勝した経験があったんです! 勝利の女神だったかも(笑)」(木綿)

「初めてやった練習は『ロープぶら下がり』。腕を伸ばして30秒、曲げて15秒耐える。キツかったけど、意地で頑張りました」(万代)



●きっかけは同級生

「10年前、同窓会で盛り上がった勢いでチームを結成。平成17年から出場してますが、当時は8人中4人が同級生で、初出場3位。頑張れば優勝も狙えるんじゃない? と思い続けて10年間、良くて2位止まりでしたが(笑)今年ようやく悲願達成」(木綿)

「今回は初代の同級生4人(木綿、万代、飯森、安田)が久々に揃ったんです! それで初心に帰れて、気合いが入った」(万代)

「確かに今年は例年に増して気持ちが入ってた気がする。10年目の節目というところ、あと初戦の相手が東だと分かった瞬間から気持ちが入ってきた。練習でも緊張感がでた」(木綿)

●来年に向けて

「今年以上に練習を重ねて、連覇を目指します!」(木綿、万代)

★次回は第30回の記念大会です。
来年もまた、心ひとつに綱を引きましょう!